

いちご農家の 持続的経営のために 後継者の育成を



大野とし子
議員

春日部市のいちご農家は最高23軒から現在11軒に減少しています。地域の特産品にとり組んできた庄和地域下吉妻地区は、高齢化による後継者不足でここ数年いちご農家が減少しています。農家の皆さんは、自分たちで頑張ってきたいちご栽培なので、継続していきたいと考えています。また、市全体ではこの間、いちご農家が数軒増えており、今、持続的経営のために後継者育成が求められています。越谷市は、いちご生産は観光農園として高収入も期待でき、都市型農業に適している。と捉え、「都市型農業経営者育成事業」に取り組み、7人の後継者を育てました。春日部市も都市型農業に適した地域です。市として、いちごの生産をどのように認識し、後継者の育成をどのように考えているのか伺います。

○環境経済部長

いちごは、市場出荷のほか、直売や観光農園としての摘み取りなどさまざまな販売手段があり、冬場を中心とした農産物として消費者の方に人気があり、購入される量も多く、加工しやすいことなどから魅力的な農作物と認識しています。後継者の育成につきましては、市内の農業団体とともに一緒に進めてまいります。

このほか

○放課後児童クラブ指導員が働き続けられるように処遇の改善を

武里団地の活性化で 若者に選ばれる 街づくりに



並木 敏恵
議員

議会「地域活性化対策検討特別委員会」は今年3月、人口減少対策などについて調査研究してきた内容を報告書にまとめました。

春日部市の人口減少の特徴は25歳から35歳の若者、子育て世代が他市に流出していることです。武里団地は老朽化

していますが、公園、スーパー、病院、保育所、学校など生活と子育てに必要な基盤が整っています。現在500戸を超える空き家がありますので、ここに若者、子育て世代を呼び込むことができれば、武里団地の活性化と人口減少に歯止めをかけることができます。

特別委員会も人口減少対策の一つとして武里団地の活性化は重要なテーマで、URへの働きかけと、市の独自の補助を提案しています。特別委員会の報告について今後の対応を伺います。

また、若い世代を呼び込むために、定住希望者や新婚世帯に家賃を補助するなど、市独自の事業を行うべきと思いますが、いかがでしょうか。

○総合政策部長

地域活性化対策検討特別委員会の報告は、重要な課題と認識しています。

武里団地の若い世代の入居促進に向けて、URと協議を重ねながら取り組んでまいります。新居世帯などへの家賃補助は難しいと考えます。

このほか

○国保都道府県単位化を前に社会保障としての国保を

公共施設に 防犯カメラの設置



栗原 信司
議員

初当選以来、市民生活を守りたいとの思いで、平成14年に犯罪発生が多い街角に防犯カメラを設置すべきと訴え、その後、平成16年には小中学校に防犯カメラを設置すべきと訴え、さらに平成23年には富士見町地下道に防犯カメラを設置すべきと訴え、直近では一昨年に公共施設の駐車場に防犯カメラを設置すべきと訴えてきました。その結果、これまでに多くの防犯カメラを設置していただきました。

しかし、最近、市内の公共施設内で市民の善意につけ込んだ事件が起きました。一つには、このような案件が起きた場合、再犯防止に向けてどんな対策を講じているのか、2点目として、子ども達を利用することの多い社会教育施設などへの防犯カメラの設置の方向性について伺います。

○総務部長

再犯防止に向け、日常点検

や見回りの強化に職員一丸となり取り組んでいます。

○社会教育部長

社会教育施設の設置数は少ないですが、新設することにより、犯罪の未然防止や利用者の皆さまの安心感などに繋がることから、今後も関係部署と調整を図ってまいります。

このほか

○テレワーク・キッズウィークに関連した働き方改革について

○受動喫煙防止条例の制定について

○まちなかの暑さ対策について



中央公民館内の防犯カメラ

地域公共交通の維持と 今後について



蛭間 靖造
議員

全国的な人口減少の中で地域公共交通に対する社会的役割は大変重要となってきた。①春日部市における、交通施策の考えについて伺います。②埼玉県乗用車の登録台数は、愛知県に次いで全国で2番目に多く、モータリゼーションが進展しています。市内の各公共交通の役割について伺います。③交通事業者の不採算路線からの撤退や運行規模の縮小といった話をよく聞きます。本市においては不採算路線における交通事業者の現状について伺います。④移動手段を持たない人たちの公共交通の確保について伺います。

〇都市整備部長

①春日部市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通ネットワークの推進を図っています。②鉄道や路線バスを主要公共交通機関と位置付け、春バスは鉄道や路線バスを補

完する交通手段と位置付けています。③定住人口や労働人口の減少により公共交通の利用者が減少し、交通事業者の不採算路線からの撤退による地域公共交通ネットワークの減少や運行回数等のサービス水準の大幅な低下は、大きな課題と考えています。④今後のコンパクトなまちづくりの実効性を担保するには、諸機能が集約した拠点同士、拠点と住居エリアを結ぶ地域公共交通ネットワークを構築することが重要です。

このほか

〇道路の維持管理について



地域公共交通の一つである春バスのバス停

ニーズに合った運行で 春バスの充実を



坂巻 勝則
議員

春バスは昨年7月に第三次運行が開始され、多くの皆さまから「朝9時台の便が無くなり使いづらくなった」との声が寄せられていました。

第三次運行では、通勤や通学にも利用できるようにと始発を早め、最終を遅くしました。また、ウイングハットなどの新規バス停の設置なども行いました。しかし、バスの増車は行わず、従来の3台で運行している為、昼間の運行本数が減少してしまい、一番利用者が多かった朝9時台の便が廃止されてしまいました。その結果、昼間の利用者は減少してしまい、早朝・夜間の利用もほとんどありません。平成27年度と第三次運行の1カ月平均利用者数を比べると、幸松地区ルートが1666人減、約30パーセントの減少。庄和地区ルートは738人減、約44パーセント減少。豊春駅ルートも745人減、

約44パーセントの減少となり、3ルート全てで利用者が激減してしまいました。

これでは、ニーズに合ったダイヤ改正とは言えません。早急にニーズに合った改正を実施すべきと強く求めますが、市の考えを伺います。

〇都市整備部長

第三次運行では、路線の拡充と他の公共交通との乗り継ぎを考慮したダイヤ編成としており、定着には一定の期間が必要と考えております。

このほか

〇部活動における教員と生徒の負担軽減を

体育施設の整備で 若者に選ばれるまちに



今尾 安徳
議員

国のスポーツ基本法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり」が、法の基本理念となったことで我が国のスポーツの発展に新たな展望を開く可能性を広げました。

同法第4条で「地方公共団

体は、基本理念にのっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と明記しています。当市においても、大沼陸上競技場や、請願採択された芝のサッカー場の進捗状況、市民からも要望が出されている市民プール建設などどのようなか考えているのかそれぞれお答えください。

さらに、市長はリーダーシップで早急に検討していくべきだと考えますが、市長の見解を伺います。

〇社会教育部長

大沼陸上競技場と芝のサッカー場は、体育施設整備基本計画の見直しの中で検討していきたいと考えます。現時点で体育施設としての市民プールの建設は考えておりません。

〇市長

本市のスポーツ施設につきましては、スポーツを通して生涯学習の充実が図れるよう、体育施設整備基本計画の見直しに取り組んでまいります。

このほか

〇就学援助制度の充実と入学準備金の前倒し支給を

学習困難児・低学力児に きめ細やかな指導を



卯月 武彦
議員

少人数学級と学習支援助手の増員で行き届いた教育を求めます。

A D H D等の障害児や、日本語が分からない外国人等困難を抱えた児童・生徒がいま
す。また、極端に学力が低い児童・生徒もいます。それらの子どもには、個別にきめ細やかな対応が必要です。

現在、小学校1・2年と中学1年が少人数学級です。①市独自に教員を増やし、全ての学年で少人数学級を実施すべきではないか。そのために何人の教員が必要か。困難な児童・生徒には、授業中に個別指導を行うべきです。②普通学級学習支援助手の配置状況はどうなっているのか。③支援助手を増員し、個別指導できるようにすべきではないか。

○学務指導担当部長

①本年度新たに必要となる教員数は、小学校26人、中学

校1人です。②小学校24校に32人、中学校13校に16人配置しています。③各学校の実態やニーズを伺いながら、児童生徒一人一人に応じた支援を行うよう適切な配置に努めてまいります。

○教育長

春日部メソッドの伝え合い学び合い、育ち合いの活動を充実させ、どの子にも知徳体バランスのとれた確かな学力を身に付けさせるよう引き続き学校を支援してまいります。

このほか

○子育て費用の負担軽減で少子化対策・人口減少対策を

「住みたくなる春日部を 目指して」について



石川 友和
議員

現在日本は、人口減少社会を迎えたとされており、我が愛する春日部市も減少傾向にあります。

人口減少から人口増へ大きくシフトチェンジしていくためには、現在、人口増となっている自治体を研究する事も重要だと思っています。

それらを踏まえまして、人口増対策について具体的に伺います。

また、それらの具体的な人口増対策の取り組みについて、春日部市としては、どのように取り組もうと考えているのか伺います。

○総合政策部長

子育て支援の充実をはじめ、都市基盤の整備などさまざまな取り組みが着実に効果を上げ始めているものと考えています。

人口増加策や定住促進策については、今後も市民の皆さまの意見を伺いながら関係機関との連携を密にし、さらなる相乗効果を発揮した取り組みを進めていきます。

さまざまな事業全てが、春日部市の人口増加策や定住促進策に不可欠な事業であり、これらをきちんと、線として継続的に取り組むとともに、これら線の連携を密にすることで面として、全ての世代からのニーズを受け止め、市民からも事業者からも選ばれるまちづくりを積極的に取り組んでいきます。

このほか

○春日部大風マラソン大会について

学校再編について



斉藤 義則
議員

庄和北部地域の学校再編については、平成31年4月に江戸川中学校敷地内に義務教育学校を開校すべく準備が進んでいるところですが、義務教育学校の特色を生かした、どのような英語教育を進めていくのか、また子どもたちの放課後の居場所、放課後児童クラブの開設等について、どのように考えているか伺います。

○学務指導担当部長

新学習指導要領では、これまで以上に小学校段階での英語教育の充実が求められています。一部教科担任制を導入することで、小学校5年生から、より専門性の高い中学校の英語を担当する教員が指導することが可能になります。

また、中学校に配置される外国人英語指導助手A L Tにより、現小学校1年生の段階から英語に親しむことができます。具体的な指導計画は、今後教職員

で組織する検討会において計画してまいります。

○子育て支援担当部長

放課後児童クラブの運営は、単年度の事業としてではなく、継続して実施していくことが必要ですので、アンケート調査を実施し、結果などを基に、方向性を見極めたいと考えています。また、放課後児童クラブ以外の放課後の児童の居場所づくりについても、さまざまな事業を行っている各関係部署と連携を図りながら検討してまいります。

このほか

○農地中間管理事業について



英語の出前授業の様子

新方川堤防改修工事について



河井 美久
議員

新方川は本市の準用河川である安之堀川や中之堀川などの放流先となっていることから、この河川の改修は本市の治水対策に大きな影響を及ぼすものと考えます。

これまで下流側において整備が進められておりましたが、100ミリ安心プランに位置付けられたことで、整備のスピードも一段と速まり、いよいよ春日部市におきましても本格的に改修工事が行われるようになりました。

新方川の整備により、その流域である市西部地域の浸水被害の軽減に大いに役立つものと期待しています。

そこで新方川の改修工事はこれまでどのようなことを行ってきたのか伺います。

併せて、新方川の改修工事は今後どのように進んでいくのか、また、これに連動して市が管理している河川の整備はどのように進められていく

のか伺います。

○建設部長

新方川では、今回進められている河川改修事業を含め、4度の改修事業が行われています。

現在進められている改修工事は、100ミリ安心プランとして、県事業と本市の事業を一体として計画されていることから、効率的な工事を実施し、早期に浸水被害の軽減効果を発現していきたいと考えています。

このほか

○江戸川堤防改修工事について



新方川

まちづくり計画について



武 幹也
議員

北春日部駅周辺地区の都市計画マスタープランの方向性と位置付けについて、また、どのような検討を進めているのか、まちづくり基本構想の内容と今後の取り組みについて伺うとともに、以下について要望します。

①隣接する宮代町と道路整備連絡協議会を設置する②水害対策として調整池の設置や深めの側溝を活用し、最終的に強制排水をする③宮代町と協議し、隼人堀川の両岸に公園を整備し、併せて内牧小までの地理的誘導を考える④公民館と保育所の複合施設建設の4点について要望します。

○都市整備部長

北春日部駅周辺地区は、改定作業を進めている都市計画マスタープランでは、住宅系の土地利用へ転換し、地域拠点、低層住宅ゾーンの位置付けを考えています。まちづくり基本構想は地権者と市が協

働して取りまとめたもので、居住者の生活利便性を向上させるための「商業ゾーン」、「暮らしの質向上ゾーン」の配置、地区内外との連携が図られた交通環境の形成、憩いの場、交流の場としての公園の配置などを、土地利用構想図に示しています。今後は、事業費の圧縮を図り、より実現性の高い土地利用計画の策定に取り組んでいきます。

このほか

○仮想通貨を利用した地域活性化の取り組みについて

○市民相談ハンドブックについて

幼稚園・保育園の無償化について



吉田 剛
議員

本市における重要な課題の一つに人口減少の問題があります。特に、25歳から39歳の子育て世代が転出傾向にあり、人口減少やまちの活力の低下の原因であると考えます。

私も子育て世代として、子どもの事を真剣に思えば思うほど、自分たちの経済状況で

責任を持って子育てができるのだろうかという点が非常に心配になります。

そこで、人口増やまちの活力アップにつながる子育て世代への経済的支援である保育料の無償化について本市の政策として実施できないか伺います。

特に第2子以降の保育料を無償化した場合の費用等を踏まえて回答をお願いします。

○子育て支援担当部長

保育料の無償化は、子育て支援施策の一つとして、影響額など、試算も行っていますが、受益者負担の原則や公平性などの観点から原則、一定の保育料を負担していただくことが必要であると考えています。第2子以降の保育料を無償化した場合、影響額は約2億4千万円となります。

子育て支援の施策の推進については、あらゆる角度から検討し、どのような施策が子育て世代にとって効果があるか、又は負担の軽減につながるかなどを見極めていきたいと考えています。

このほか

○病児保育について

○HUG訓練について

○こどもファンドについて

平成 29 年度 議会報告会日程

開催日	会 場	時間帯	担当委員会
10月28日(土)	市民活動センター 「ぽぽら春日部」 4階 会議室	午前 10 時 ～ 正午	総務委員会
			厚生福祉委員会
			建設委員会
			教育環境委員会

議会報告会の開催

市議会では、開かれた議会の実現を目指すため、議会報告会を開催いたします。

また、市議会としての「広聴」の機能を一層拡充するため、議員がグループに分かれて、皆さまからのご意見などを伺う時間も予定しています。なお、詳細につきましては、今後、広報かすかべや市議会ホームページでもご案内いたします。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月22日

・平成29年6月定例会の運営について

▽広報広聴委員会

5月22日

・議会報告会の開催について
・行政視察結果報告書について

6月23日

・議会だより第48号の発行について
・議会報告会について
・行政視察結果報告書について

7月3日

・議会だより第48号の発行について
・議会報告会について
▽図書室運営委員会
6月23日
・平成29年度購入図書の手続きについて

次の定例会は
8月21日(月)
開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。
傍聴席は56席（車イス傍聴席2席含む）です。
本会議は、通常午前10時から開催します。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
5/26	2	上程・説明
6/1	0	質 疑
6/1	6	委員会
5	67	一般質問
6	63	一般質問
8	6	一般質問
12	24	一般質問
13	23	一般質問
15	5	討論・採決
合計	196	

傍聴して一言

若い人にも考えてもらえるようなアプローチがあるといいと思いました。20代の人などにも意見を聞く場があったり、土日の議会やツイッターがあるといいと思います。

男性・17歳

初めて議会を傍聴しましたが、市役所の部長は男性ばかりで福祉部長のみ女性。現在の市政運営は男性目線です。優秀な女性を思い切つて部長にする市役所の組織改革を望みます。

男性・52歳

緊張感を持って議事運営をされていることを傍聴して実感しました。議員各位におかれましては、予鈴以前に入場されたし。

男性・74歳

議員全員を拝見、その発言と執行部の応答を拝聴し、身が引き締まった。

各具申に対する市の速やかなる実行を期待したい。

男性・73歳

行政の答弁が抽象的で、具体的な内容説明に欠ける。時間的制約かもしれないが事例を挙げての答弁が欲しかった。

男性・81歳

可能ならば、プロジェクト等を用いた説明にすれば、目と耳で理解が進むと思う。

男性・68歳

質問の通告書類を見ると、細かく書いている議員と、そうでない議員がいるようです。細かく書いていない議員がどんなことを質問したいと思つたのか気になるところです。

男性・46歳

※割愛させていただいた部分もあります。

編集後記

毎日暑い日が続きますが、市民の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。春日部市議会では、6月定例会において新たな正・副議長が選出されるなど、議会人事の変更がありました。また、10月に開催する議会報告会は、皆さまからのご意見を基に時間を見直し開催いたします。今後も皆さまに身近に感じられるような議会だよりの作成に努めてまいりますので、よろしく願います。

広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
副委員長 石川 友和
委員 水沼日出夫
委員 斉藤 義則
委員 大野とし子
委員 古沢 耕作
委員 木村 圭一
委員 蛭間 靖造
委員長 オブザーバー
議長 滝澤 英明
副議長 武 幹也

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116

再生紙を使用しています。